



学校だより 2月号

鶴つ子

令和8年1月30日(金)

内灘町立鶴ヶ丘小学校

校訓 強く 正しく すこやかに

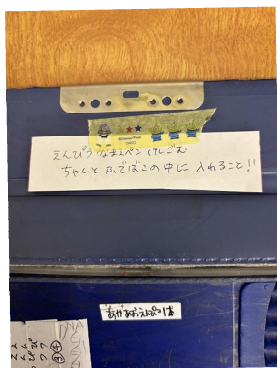
支え励ますカタチ

校長 堀井 洋一

早いもので来週からは2月。2月4日が立春とはいえ、まだまだ寒い日が続いています。

先週の大雪では、登校時の安全が心配されましたが町による除雪作業によって通学路も確保され子どもたちは元気に登校してきました。連日の雪で運動場も白一色となり休み時間には、多くの子どもたちが雪だるま作りや雪合戦などの雪遊びを楽しんでいます。また、各学年の学習は今年度のまとめの時期に入りました。次の学年にむけて漢字や九九などの基礎学習や学年の内容をしっかりと学習しています。

今回は、低学年で見つけた「励ましのカタチ」を紹介したいと思います。



左の二人の筆箱にはそれぞれお母さんからのメッセージが貼られています。まだ持ちものの整頓が難しい年齢ですから「ちゃんとふでばこの中に入れること」「つかいおわったらすぐにかたづける」と書いてあることで、「片付けよう」という気持ちが芽生えます。また、左の二人の筆箱は学習に適した長さの鉛筆、赤鉛筆、消しゴム、サインペンがきれいにそろっています。学習に必要な物が整えられていることで「勉強への意欲」が湧きます。これらのご家庭は、子どもたちは学校にいる時間も「お母さんからのメッセージ」や「整った学習道具」が励みになるのだと感じました。

親は子の代わりに学校で勉強してあげることはできません。また、代わりに友だちを作ってあげることも代わりにケンカをしてあげることもできません。親にできることは子どもが『自立』できるように支え励ましてしていくことです。支えるカタチは、メッセージであったり、お子様との会話であったり、毎日の食事であったりと様々かと思っています。どんなカタチであれ子どもに必ず伝わり自立への力となります。

学校も保護者や地域みなさまと共に、子どもたちへのサポートをしていきたいと思っています。ご理解とご協力をお願いいたします。